



子育て日記



チック症しょう

昨今、『チック症』になる子どもが増えているそうです。

「チック症」とは、幼児期から思春期頃に多くみられる“**脳神経の障害**”のうしんけい しょうがいです。

この病気は“ストレス”などが原因で、本人の意識とは関係なく「頻繁にまばたきをしたり」「顔をしかめたり」「鼻をククンと鳴らしたり」「むやみに汚い言葉を口にしたり」などの症状が発作的に出てくることで知られています。



実は子どもの“**10%くらい**”がチック症になるといわれ、特に“**男の子**”に多く見られるそうです。

ただし、チックのほとんどは“**一過性**”いつかせいなので、治療をしなくても1年以内に症状が消えるようです。



しかし、1年以上経っても治らないこともあり、そういったケースは『**トゥレット障害**』といわれ、症状が悪化したり、新しい症状が加わってくるなど、日常生活に支障を来すこともあるそうです。

一方、チックの症状を示している子の親は、周りから「しつけが厳しいからだ」などと間違った雑音が入ったりするため、必要以上に悩まなければならないということもあつたりします。ですので、もしお子さんに「チック症」の疑いがあるようなら、**早めに“専門医”**へ相談してみましよう。

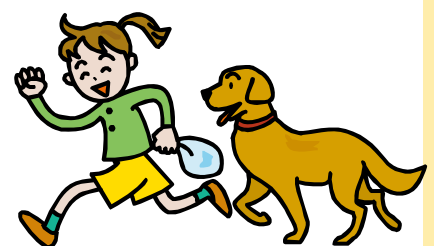


また、これに並行して、“**何がストレスを招いている原因なのか**”まねを調べ、それをお子さんから取り除いてあげるような工夫も大切です。もし家庭内で思い当たるようなことがなければ、学校や幼稚園で何かトラブルがないかを聞いてみましょう。

チックは的確な“**投薬治療**”とうやくちりょうが行なわれれば、症状はかなり緩和かんわされるようです。



子どもの頃、深刻な症状だった子が普通に通学できるようになり、長じて進学、就職も問題なくできたという例も数多くあります。



もし、「チック症」の専門医が分からない場合は、学校や教育委員会の「相談窓口」へ相談してみましよう。